

▶ 第5章

多様化する北朝鮮の商品経済

——新富裕層が支え、資材調達カギ

日本経済研究センター 朝鮮半島経済研究会

【ポイント】

- ▶ 金正恩時代に入り、北朝鮮の商品経済が大きな変化を遂げている。経済改革の一環である経営自主権の拡大が企業を後押しし、商品展示会において製品の品質やデザインを競う光景が頻繁に見られるようになった。
- ▶ 消費の主な担い手は「トンジュ（金主）」などと呼ばれる経済活動で富を築いた「新富裕層」だ。市場での商業活動や副業により商品の購買力を高めた住民も少なくない。
- ▶ 多様化する商品経済に影を落としているのが、国際的な経済制裁に新型コロナウイルス、水害が加わった経済の「三重苦」だ。貿易の縮小で原材料の調達が滞れば製造業、商業部門に影響が及び、国民所得の低下が消費を冷やしかねない。



注目データ

北朝鮮と韓国の国民所得の比較

	北朝鮮(A)		韓国(B)		B/A(倍率)	
	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年
名目GNI (韓国兆ウォン)	35.9 (-2.0)	35.6 (-0.9)	1905.8 (3.4)	1935.7 (1.6)	53.1	54.4
1人当たりGNI (韓国万ウォン)	142.8 (-2.5)	140.8 (-1.4)	3693.0 (2.9)	3743.5 (1.4)	25.9	26.6
人口(千人)	25,132	25,250	51,607	51,709	2.1	2.0

注：カッコ内は前年比増減率(%)

出所：韓国銀行『2019年北朝鮮の経済成長率推定結果』